

国土交通省 令和3年度第1回

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

(仮称)名古屋丸の内一丁目計画

清水建設株式会社

建物概要

住所 : 名古屋市中区丸の内一丁目16

規模 : 地上16階

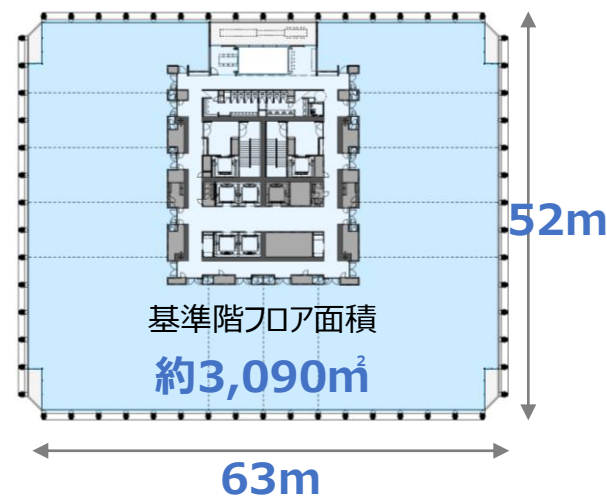
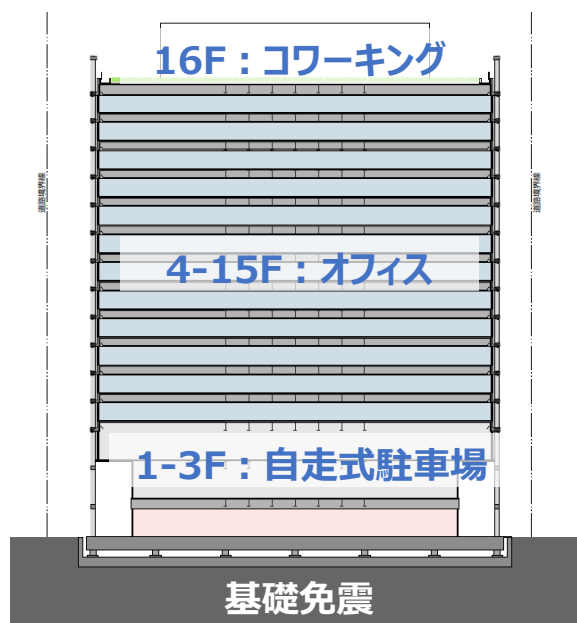
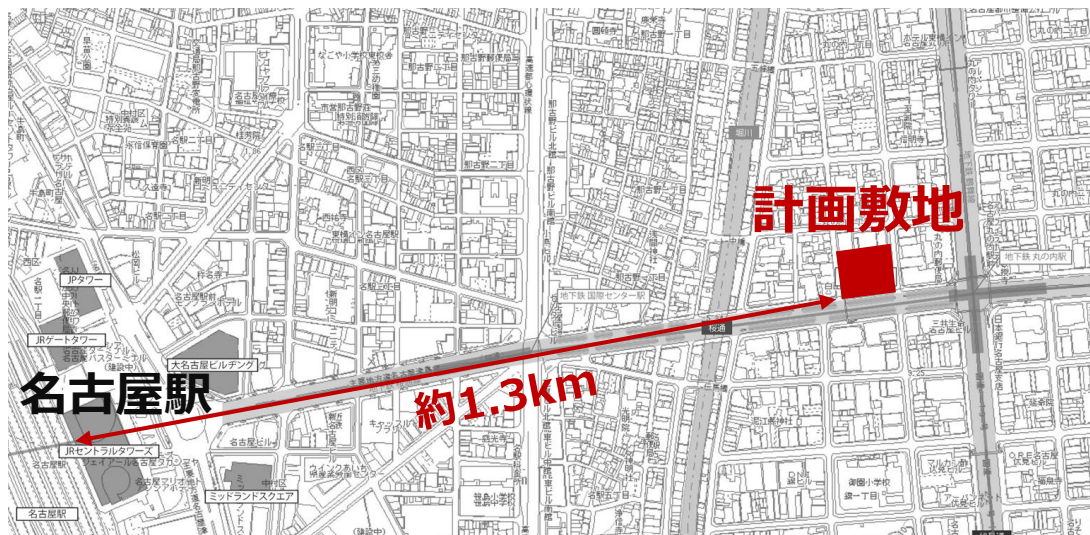
構造 : RC造 (一部鉄骨造)

用途 : 事務所・駐車場

延床面積 : 約47,500 m²

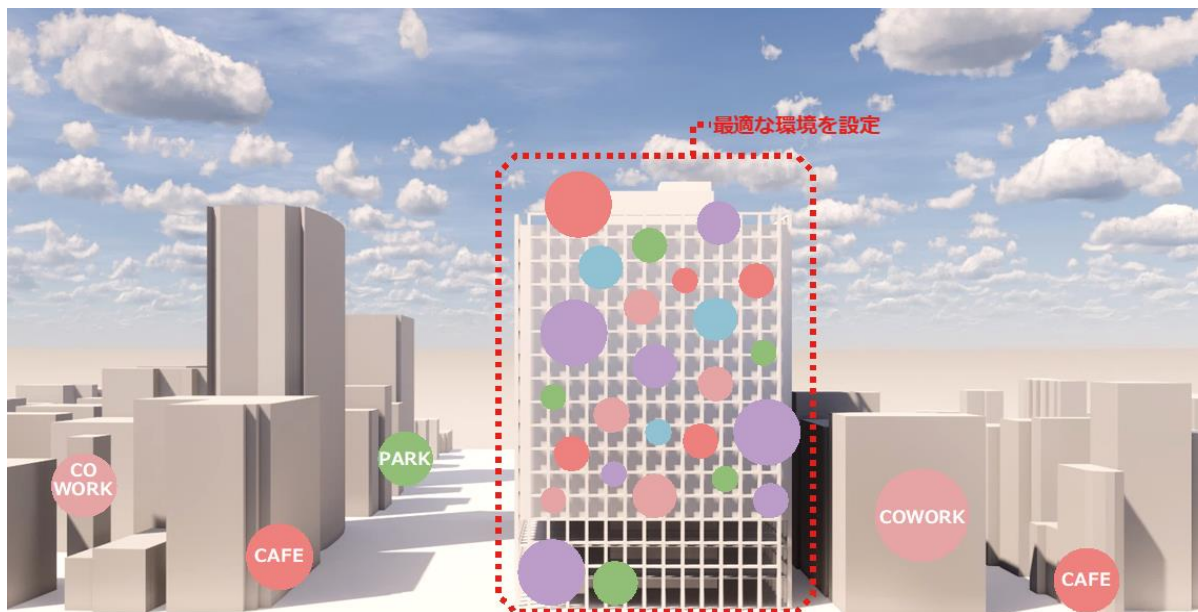
建物高さ : 約85m

基準階フロア面積 : 約3,090 m²

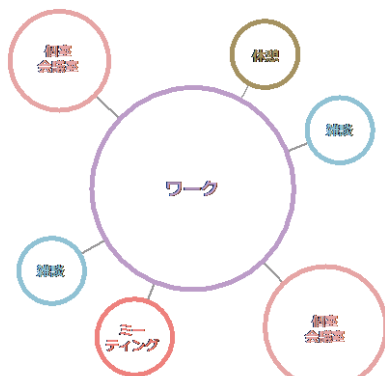


延べ面積
約47,500 m²

計画の背景と特徴



ワーカースペースを建築的なハードとしてオフィスに集積し
多様な場づくりができるオフィスを創出



従来オフィスのイメージ
 =ワークスペース中心



これからのオフィスのイメージ
 →様々な場が等価に必要とされる

フレキシブルな働き方を実現する
 専有空間

多様な働き方を広げる
 “親自然的”共用空間

多様な働き方に応える超環境配慮型オフィス

- ① 新しい働き方を支える次世代環境技術による、
ニューノーマル時代のワークプレイスの創出
- ② 人と建物の連携と安全安心を支える、
建物デジタル化プラットフォームの導入
- ③ 地域特性に配慮した環境共生型オフィスでの省CO2推進

① 新しい働き方を支える次世代環境技術による ニューノーマル時代のワークプレイスの創出（課題2）

フレキシブルな働き方を実現する
専有空間

多様な働き方を広げる
共用空間

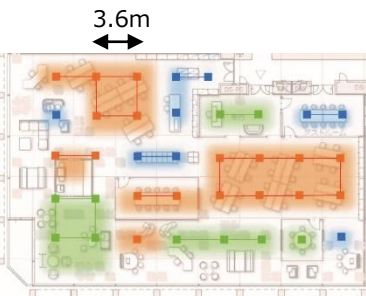
屋外の空気を感ずる
専有バルコニー



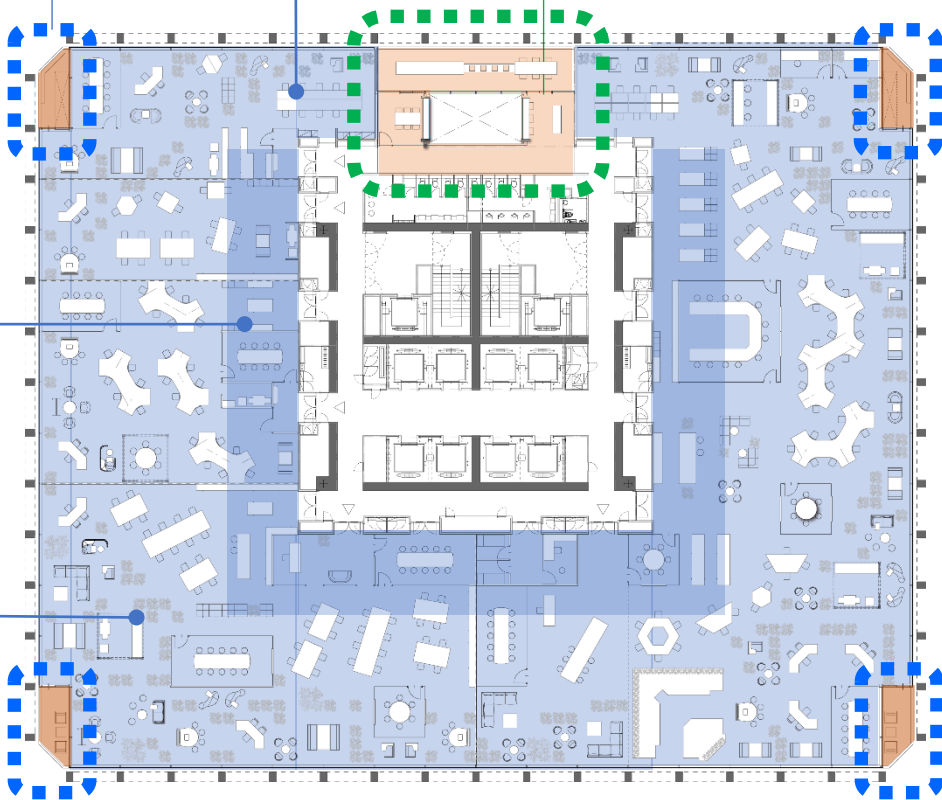
水まわり設置対応



多様な場にきめ細かく
対応する空調システム



空調運転モード
● 低負荷
● 中負荷
● 高負荷



光と風を取り込む
立体会所



自然と融和する
屋上サードプレイス

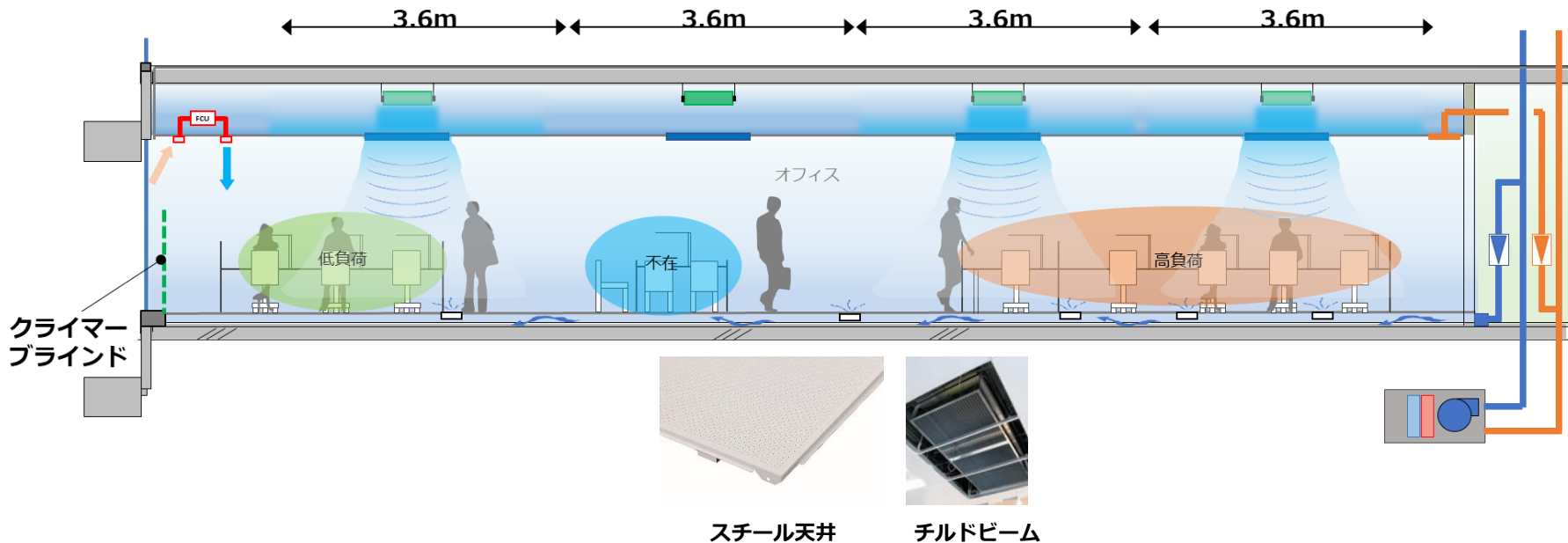
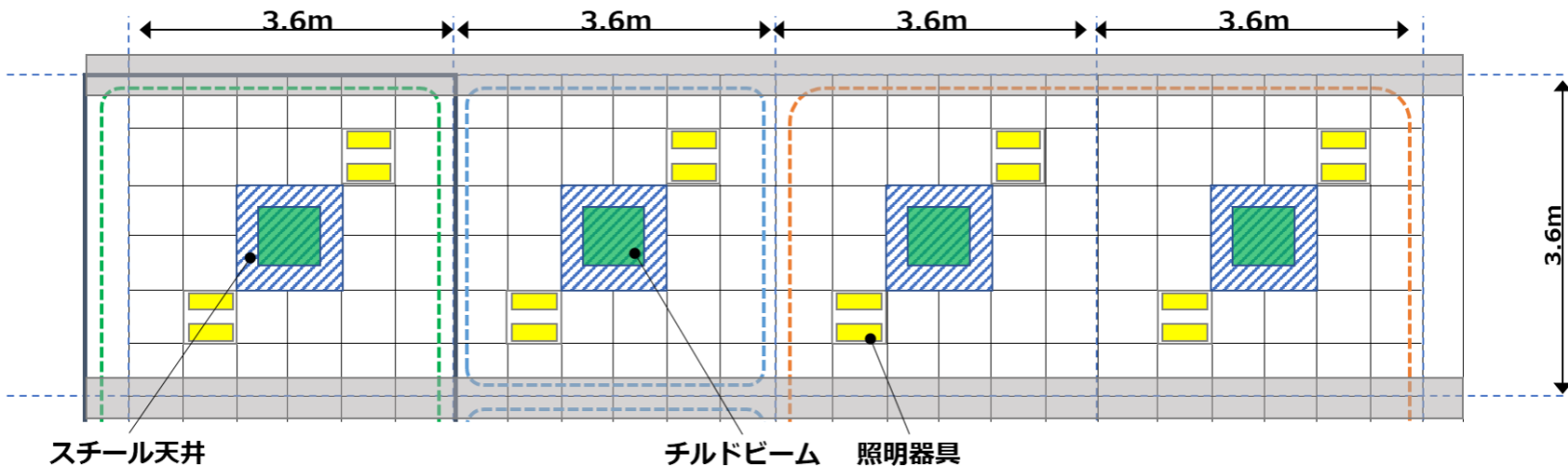


イチョウ並木を享受する
エントランス



① 新しい働き方を支える次世代環境技術による ニューノーマル時代のワークプレイスの創出（課題2）

・多様な働き方にきめ細かく呼応する空調・照明



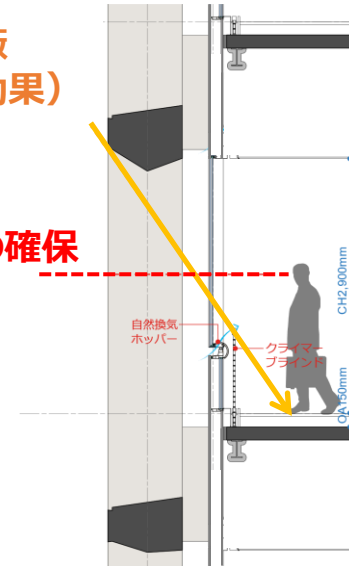
① 新しい働き方を支える次世代環境技術による ニューノーマル時代のワークプレイスの創出（課題2）

- ・クライマブラインドと外殻PCフレームの採用
→眺望と快適性を確保したペリメータ



日射遮蔽
(庇・袖壁効果)

眺望の確保

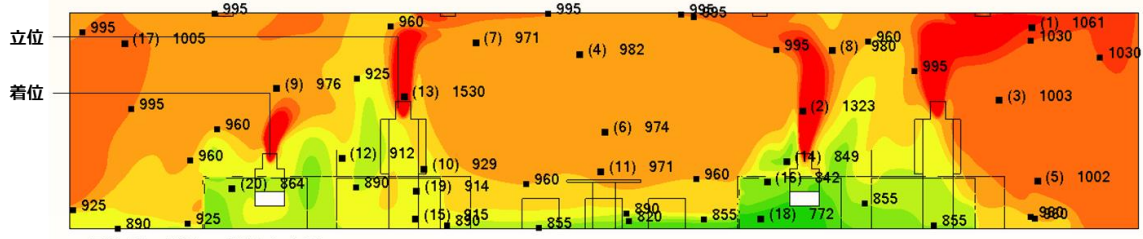
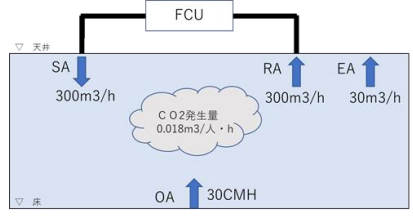


専有部内観

① 新しい働き方を支える次世代環境技術による ニューノーマル時代のワークプレイスの創出（課題2）

・感染症対策としての高効率換気システム

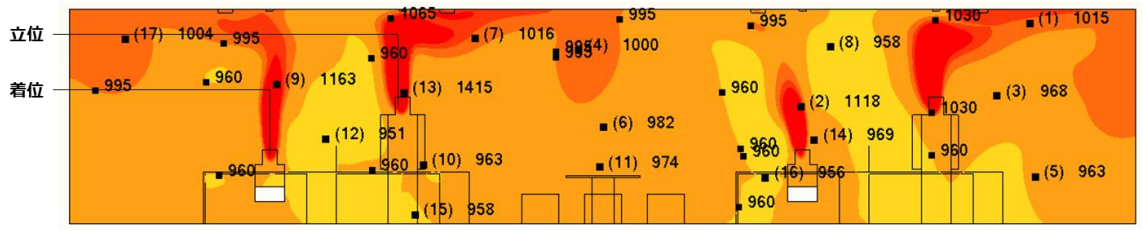
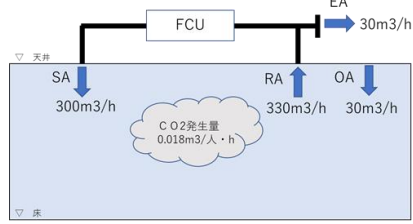
Case1 OA床吹出+SA/RA天井+EA天井



・居住域に新鮮OA供給を確認
・天井からのSA/RAによるOAの攪拌は見られない

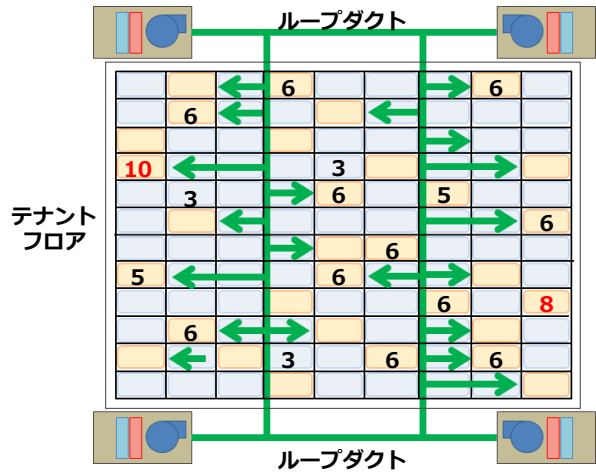
新鮮外気床下、空調天井方式に決定

Case 2 OA天井吹出+SA/RA天井+EA天井



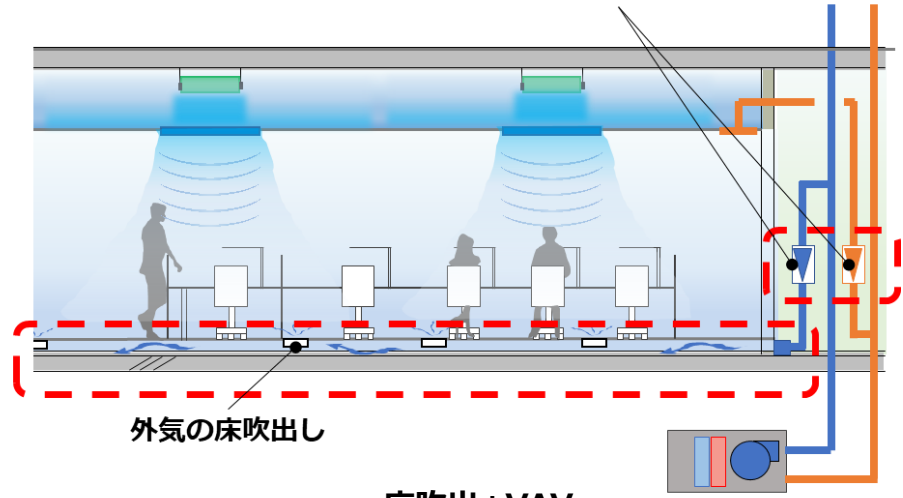
・天井付近でOAとSAが混合し室全体でCO2濃度はほぼ均一

テナント毎にVAVを設置



ループダクトイメージ図

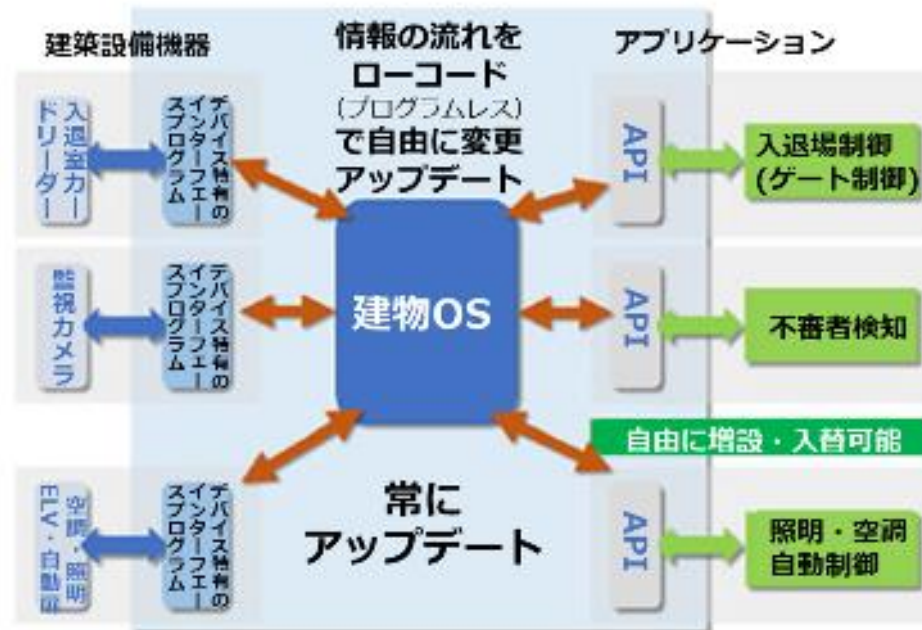
凡例
数字：風量/m2
■：高負荷テナント
□：低負荷テナント



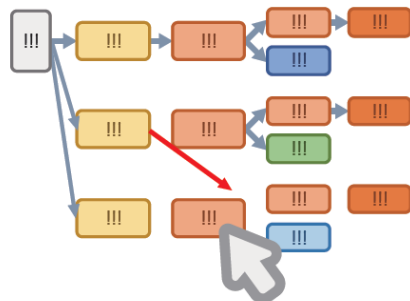
床吹出+VAV

② 人と建物の連携と安全安心を支える 建物デジタル化プラットフォームの導入（課題3）

・情報連携の高度化による建物マネジメントサービスの向上



拡張性



プログラムレスでデータ連携・アプリ開発が可能

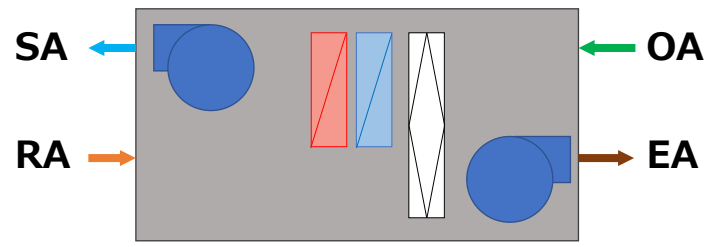
拡張性



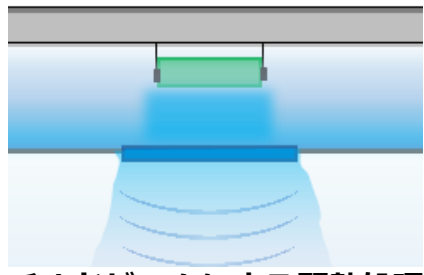
データ・アプリ連携により新たなサービスが提供可能

③地域特性に配慮した環境共生型オフィスでの省CO₂推進(課題5)

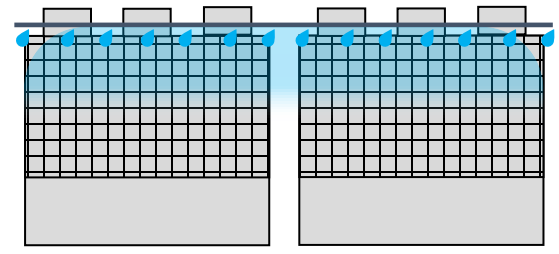
・高温多湿な地域特性に合わせた潜熱・顕熱分離空調と熱源の高効率化



外調機による潜熱処理

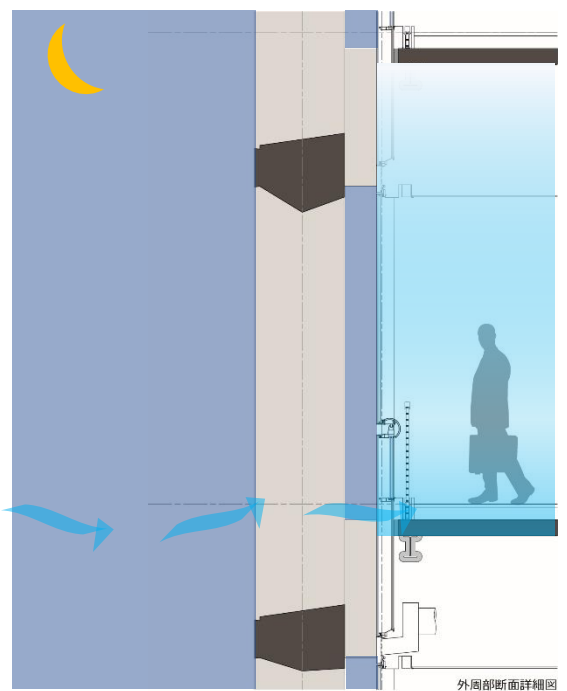


チルドビームによる顕熱処理



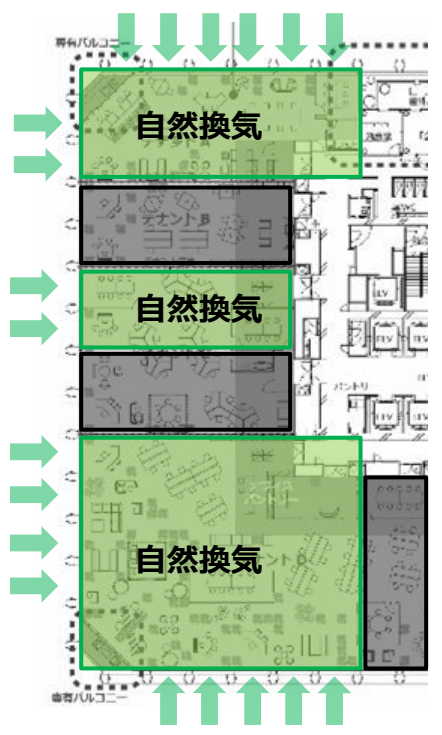
散水による熱源の高効率化

・夜間の外気を有効に利用したナイトパーズ



外周部断面詳細図

・立地環境に適した自然換気



SDGs・ウェルネス・再生可能エネルギー利用

- CASBEE SDGs版でSDGsマーク5つを達成 (自己評価)
- CASBEE ウェルネスオフィスでSランクを達成 (自己評価)
- 施工時に使用する電力は再生可能エネルギー由来の電力を充当
- サイナージによる見える化・外部発信
- 見学者を積極的に受け入れ、他の事業者の参考にしていただきます

CASBEE®-建築(新築)SDGs試行版 | 評価結果 |



CASBEE SDGs版評価結果 (自己評価)

CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |



CASBEE ウェルネスオフィス評価結果 (自己評価)

国土交通省 令和3年度第1回

サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

ご清聴ありがとうございました